

新連載

Our Future

夢と希望が輝く中学校へ

今回は、メディアセンターについて紹介します。

昇降口から大階段で上がった所に図書館、コンピューター室、グループ学習や自習スペースをまとめたICT対応の総合学習スペースを設けました。

デザインコンセプトは「波紋」です。自然に本に触れ、興味を持ち、おのずと学びの楽しさにつながり、生徒同士のコミュニケーションの場になる大きな輪になることを期待しています。一滴のしづくが波紋を広げていくイメージです。

この特徴は、ゆったり、のんびり読書ができるベンチや、図書室全体や外の風景を見通せる低く背板がない書架を配置します。生徒の学習意欲を高める雰囲気づくりを演出します。

次回は生徒の生活の場である普通教室について紹介します。

浜岡中学校の新校舎図鑑

vol. 2 メディアセンター



照会 教育総務課 ☎ 0537 8733

Atomic

暮らしと原子力

いろいろな発電方法を
学んでみよう

浜岡原子力館では、館内にある原子炉や防波壁の実物大の模型を見学し、原子力発電の仕組みや発電所の安全対策について学びました。子どもたちは防波壁の模型を見て、頑丈な設備によって原子力発電所が津波から守られていることを実感していました。

「とよたエコフルタウン」では、燃料電池車に必要な水素ステーションやITを使った省エネ住宅のスマートハウスなど、次世代エネルギーや先

市では、原子力に関する正しい知識と理解を深めることを目的とした「子ども発電施設等見学会」を毎年計画しています。本年度は7月30日に開催。見学会には小学4～6年生とその保護者計17人が参加し、中部電力(株)浜岡原子力館と「とよたエコフルタウン(愛知県豊田市)」の2カ所を見学しました。



▲とよたエコフルタウンで次世代エネルギーについての説明を受ける



▲浜岡原子力館で防波壁について説明を受ける

進環境技術を見学しました。参加した子どもはスマートハウスでの省エネ方法に、「私の家もこうなってほしい」と目を輝かせていました。市は、これからも原子力に関する知識だけでなく、他のエネルギー分野について幅広く学ぶ機会を作っています。も幅広く学ぶ機会を作っています。く予定です。